

コード番号 B001

講習名	【選択必修】発達障害の基礎理解と支援			
開設日時	7月30日（金）～9月30日（木）	担当講師	宮 一志、水内 豊和、和田 充紀	
会場	/		募集人数	160人
		時間数	6時間	
認定対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭	主な受講対象者	免許職種、教科等	特定しない
		学校種	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭	
		職務経験等	特定しない	
受講料	6,000円	受講料以外の経費	なし	
<p><b>講習の概要</b></p> <p>学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉スペクトラム症といった発達障害の児童生徒は、15人に1人の割合で通常学級に在籍すると言われている。 本講習では、発達障害の心理・病理的特性や、発達障害児者を取り巻く教育・社会の制度や現状について、講義を通して理解する。また、一人一人に応じた適切な支援の在り方について、事例検討等を通して理解を深める。この講習の実施形態はインターネット（オンデマンド型）にて行うものとする。</p>				
<p><b>到達目標及びテーマ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別の支援を必要とする発達障害の児童生徒の特性を理解する。</li> <li>・ 発達障害の児童生徒に対する特別支援教育の理念としくみ、社会の制度や現状について理解する。</li> <li>・ 発達障害の児童生徒の学校、家庭、関係機関における支援と連携について理解する。</li> </ul>				
<p><b>講習の授業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. (60分) 「発達障害の特性」 発達障害の概念、認知特性の考え方を概説する。（宮）</li> <li>2. (60分) 「発達障害児者のライフコースと課題」 発達障害のある人の生まれてから成人期までの学校教育を含めたライフコースとその課題について概説する。（水内）</li> <li>3. (60分) 「発達障害児の学習支援とICT活用」 合理的配慮の元、学校教育においてICT活用をどのように進めていけば良いのかについて具体例をあげながら概説する。（水内）</li> <li>4. (60分) 「発達障害児への教育的支援」 発達障害児の特性を考慮した環境整備や授業づくり、学校内の支援体制について概説する。（和田）</li> <li>5. (60分) 「個に応じた適切な支援」 一人一人のニーズに応じた支援内容と方法、家庭や関係機関との連携について事例をあげながら概説する。（和田）</li> <li>6. (60分) 筆記試験</li> </ol> <p>※試験終了後、「免許状更新講習受講者評価書」に回答を記入してください。</p>				
テキスト	なし			
参考資料等	なし			
履修認定（試験）の方法	筆記試験			
留意事項（各自で準備するものなど）	なし			
備考	前年度「B001【選択必修】発達障害の基礎理解と支援」受講者（履修認定済）は受講不可			